

科 目 名		体 育 1			単 位 数	2	履 修 区 分	筆 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材	新高等保健体育 (大修館書店)		
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		各領域の運動種目を取り扱い、中学校3学年との接続を重視し、運動の楽しさや、喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続できるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、技能を身につけます。「体育理論」では、スポーツの文化的特性や現代のスポーツ発展について学習します。						
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		・各領域に応じて技能（技）の名称や行い方、体力の高め方、練習の仕方、課題解決の方法を理解し実践できる。 ・基本的な技能や動きを身に付け、運動やスポーツの多様な関わり方を場面にに応じて選択し、実践することができる。		自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己（や仲間）の考えたことを他者に伝えることができる。		・自主的に取り組もうとし、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする。 ・互いに助け合い教え合おうとし、一人一人の違いを大切にしようとする。 ・健康、安全を確保する。		
評 価 方 法	授 業 観 察	○		○		○		
	ノート、プリント	○		◎		○		
	ス キ ル テ ス ト	◎		○		—		
学 期	月	学 習 内 容（単元名）	評 価 規 準					
前 期	4	体づくり運動 体育理論	＜体づくり運動＞体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則を理解する。		＜体づくり運動＞自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫し、自己や仲間の考えたことを他者に伝える。		＜体づくり運動＞自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保できる。	
	5	バレーボール ソフトボール 体育理論	＜バスケットボール、サッカー＞安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防することができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞	
	6							
		定期考査 ①						
	7		＜バレーボール、テニス、バドミントン＞役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする事ができる。		＜バレーボール、テニス、バドミントン＞役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をする事ができる。		自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた	
後 期	9	バスケットボール テニス 体育理論					自主的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、作戦などについての話し合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた	
	10	持久走	＜ソフトボール＞安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻防することができる。		＜持久走＞動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。		レイなどを大切にしようとする、互いに助け合い教え合おうとすることなどや健康・安全を確保することができる。	
後 期		定期考査 ②					＜持久走＞自主的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	
	11		＜持久走＞自己に適したペースを維持して走ることができる。		※スキルテストは、授業担当者から説明			
	12	バドミントン サッカー						
	1		※スキルテストは、授業担当者から説明					
		定期考査 ③						
	2	バドミントン サッカー 体育理論						
	3							

科 目 名		体育2			単 位 数	2	履修区分	筆 履 修	
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材		新高等保健体育 （大修館書店）		
履 修 の 条 件									
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		各領域の運動種目を取り扱い、生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考wたことを他者に伝える力を養います。「体育理論」では、運動やスポーツの効果的な学習の仕方を学習します。							
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度			
観 点 の 内 容		・各領域に応じて技能（技）の名称や行い方、体力の高め方、試合の仕方、課題解決の方法を理解し実践できる。 ・基本的な技能や動きを身に付け、運動やスポーツの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践することができる。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		・主体的に取り組もうとし、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようすることができる。 ・互いに助け合い高め合おうとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができる。 ・一人一人の違いを大切にし、健康、安全を確保する			
評価 方法	授 業 観 察	○		○		○			
	ノート、プリント	○		◎		○			
	ス キ ル テ ス ト	◎		○		○			
学期	月	学習内容（単元名）		評 価 規 準					
前期	4	体づくり運動 体育理論		＜体づくり運動＞体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。		＜体づくり運動＞生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		＜体づくり運動＞主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保できる。	
	5	バレーボール ソフトボール 体育理論		＜バスケットボール、サッカー＞状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えことを他者に伝えることができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保することができる。	
	6	定期考査 ①							
	7								
	9	バスケットボール テニス 体育理論		＜バレーボール、テニス、バドミントン＞状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。					
後期	10	持久走 定期考査 ②		＜ソフトボール＞状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防することができる。 ＜持久走＞ペースの変化に対応して走ることができる。		＜持久走＞生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝えることができる。		＜持久走＞主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	
	11								
	12	バドミントン サッカー							
	1	定期考査 ③							
	2	バドミントン サッカー 体育理論							
	3								
				※スキルテストは、授業担当者から説明		※スキルテストは、授業担当者から説明			

科 目 名		体育3			単 位 数	3	履修区分	筆 履 修	
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材		新高等保健体育 (大修館書店)		
履 修 の 条 件									
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		各領域の運動種目を取扱い、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を身につけるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。							
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度			
観 点 の 内 容		・各領域に応じて「技能（技）の名称や行い方」「体力の高め方」「課題解決の方法」「練習や発表の仕方」を理解し実践できる。 ・基本的な技能や動きを身に付け、運動やスポーツの多様な関わり方を場面に応じて選択し、実践することができる。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		・主体的に取り組もうとし、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようすることができる。 ・互いに助け合い高め合おうとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができる。 ・一人一人の違いを大切にし、健康、安全を確保することができる。			
評価方法	授 業 観 察	○		○		○			
	ノート、プリント	○		◎		○			
	ス キ ル テ ス ト	◎		○		○			
学期	月	学 習 内 容 (単元名)		評 価 規 準					
前期	4	体づくり運動 体育理論		＜体づくり運動＞体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。		＜体づくり運動＞生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		＜体づくり運動＞主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保できる。	
	5	バレーボール ソフトボール 体育理論							
	6	定期考査 ①							
	7								
	9	バスケットボール テニス 体育理論		＜バスケットボール、サッカー＞状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができる。 ＜バレーボール、テニス、バドミントン＞状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えことを他者に伝えることができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保することができる。	
後期	10	持久走 定期考査 ②		＜ソフトボール＞状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防することができる。 ＜持久走＞ペースの変化に対応して走ることができる。		＜持久走＞生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝えることができる。		＜持久走＞主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとする、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。	
	11								
	12	バドミントン サッカー							
	1	定期考査 ③							
	2	バドミントン サッカー 体育理論		※スキルテストは、授業担当者から説明		※スキルテストは、授業担当者から説明			
	3								

科 目 名		体育4			単 位 数	2	履修区分	筆 履 修	
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材	新高等保健体育 （大修館書店）			
履 修 の 条 件		体育1、体育2、体育3をすべて修得していること。ただし、夜間部は必履修である。							
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		各領域の運動種目を取扱い、運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を身につけるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養います。							
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度			
観 点 の 内 容		・各領域に於いて「技能（技）の名称や行い方」「体力の高め方」「課題解決の方法」「練習や発表の仕方」を理解し実践できる。 ・基本的な技能や動きを身に付け、運動やスポーツの多様な関わり方を場面に於いて選択し、実践することができる。		生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		・主体的に取り組もうとし、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようすることができる。 ・互いに助け合い高め合おうとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすることができる。 ・一人一人の違いを大切にし、健康、安全を確保することができる。			
評価方法	授 業 観 察	○		○		○			
	ノート、プリント	○		◎		○			
	ス キ ル テ ス ト	◎		○		○			
学期	月	学習内容（単元名）	評 価 規 準						
前期	4	体づくり運動 体育理論	＜体づくり運動＞体を動かす楽しさや心地よさを味わい、体づくり運動の行い方、体力の構成要素、実生活への取り入れ方などを理解するとともに、自己の体力や生活に応じた継続的な運動の計画を立て、実生活に役立てることができる。		＜体づくり運動＞生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができる。		＜体づくり運動＞主体的に取り組むとともに、互いに助け合い高め合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保できる。		
	5	バレーボール ソフトボール 体育理論							
	6								
		定期考査 ①							
	7								
期	9	バスケットボール テニス 体育理論	＜バスケットボール、サッカー＞状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防することができる。 ＜バレーボール、テニス、バドミントン＞状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えことを他者に伝えることができる。		＜バスケットボール、サッカー、バレーボール、テニス、バドミントン、ソフトボール＞主体的に取り組むとともに、フェアプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなど、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとすることなどや健康・安全を確保することができる。		
後期	10	持久走	＜ソフトボール＞状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防することができる。		＜持久走＞生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えことを他者に伝えることができる。		＜持久走＞主体的に取り組むとともに、ルールやマナーを大切にしようとし、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとし、合意形成に貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができる。		
		定期考査 ②							
	11								
	12	バドミントン サッカー							
	1								
		定期考査 ③							
	2	バドミントン サッカー 体育理論	※スキルテストは、授業担当者から説明		※スキルテストは、授業担当者から説明				
3									

科 目 名		保健 1			単 位 数	1	履修区分	必 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材	新高等保健体育 （大修館書店） 新高等学校保健ノート		
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して健康についての総合的な認識を深め、保健の見方・考え方を働かせ、生涯を通じて自他や社会の健康に関する課題を解決していくための資質や能力の育成を図ります。 内容のまとめについては、「現代社会と健康」、「安全な社会生活」の2項目とします。						
評 価 の 観 点		知識		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができる。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。		
評 価 方 法	授 業 観 察	○		○		◎		
	定 期 考 査	◎		○		○		
	ノート、プリント	○		◎		○		
学 期	月	学 習 内 容（単元名）		評 価 規 準				
前 期	4	(1)現代社会と健康 (ア) 健康の考え方 ㊦国民の健康課題 ㊧健康の考え方と ㊨健康の保持増進		入学年次 ○現代社会と健康について理解を深める。 (ア)健康の考え方 ・国民の健康課題や主体と環境の相互作用について理解している。 (イ)現代の感染症とその予防 ・個人の取組及び社会的な対策について理解している。 (ウ)生活習慣病などの予防と回復 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活や疾病の早期発見及び社会的な対策について理解している。		○現代社会と健康について、健康の考え方や感染症の予防、生活習慣病の予防と回復、喫煙・飲酒・薬物乱用と健康について考え、それらを表現することができる。		○現代社会と健康について理解を深め、予防や対策について自主的に考えることができる。
	5							
	6	(イ) 現代の感染症 ㊩現代の感染症						
	7	定期考査 ① (ウ)生活習慣病などの予防と回復						
	9	(エ)喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ㊪喫煙、飲酒と健康						
後 期	10	㊫薬物乱用と健康 (カ) 精神疾患の ㊬精神疾患の特徴		(オ)精神疾患の予防と回復 ・運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活、疾病の早期発見及び社会的な対策について理解している。		○安全な社会生活について、安全に関する原則や概念に着目して危険の予測やその回避の方法を考え、それらを表現することができる。		○安全な社会生活を送るための環境作りについて理解を深め、自主的に取り組むことができる。
	11	㊭精神疾患への対処 (2)安全な社会生活 (ア)安全な社会づくり		○安全な社会生活について理解を深めるとともに、応急手当を適切にすることができる。 (ア)安全な社会づくり ・環境の整備と個人の取組について理解している。				
	12	㊮事故の現状と発生要因 ㊯安全な社会の形成 ㊰交通安全		(イ)応急手当 ・傷害や疾病の悪化の軽減、正しい手順や方法、応急手当の速やかな実施について理解している。				
	1	定期考査 ② (イ)応急手当						
	2	㊱応急手当の意義 ㊲日常的な応急手当						
	3	㊳心肺蘇生法						

科 目 名		保健2			単 位 数	1	履修区分	必 履 修
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	夜 間 部	使 用 教 科 書 教 材	新高等保健体育 (大修館書店) 新高等学校保健ノート		
履 修 の 条 件								
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		個人及び社会生活における健康・安全に関する理解を通して健康についての総合的な認識を深め、保健の見方・考え方を働かせ、生涯を通じて自他や社会の健康に関する課題を解決していくための資質や能力の育成を図ります。 内容のまとめりについては、「生涯を通じる健康」、「健康を支える環境作り」の2項目とします。						
評 価 の 観 点		知識		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度		
観 点 の 内 容		個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けることができる。		健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養うことができる。		生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことができる。		
評価 方法	授 業 観 察	○		○		◎		
	定 期 考 査	◎		○		○		
	ノート、プリント	○		◎		○		
学期	月	学習内容（単元名）	評 価 規 準					
前 期	4	(3)生涯通じる健康 (ア)生涯の各段階 ㊦思春期と健康	○生涯を通じる健康について理解を深める。 (ア生涯の各段階における健康 ・生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりを理解している。		○生涯を通じる健康に関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを実現することができる。		○生涯を通じる健康に関する課題の解決策について自主的に考えることができる。	
	5	㊧結婚生活と健康 ㊨加齢と健康	・生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりを理解している。					
	6	(イ)労働と健康 ㊦労働災害と健康 定期考査 ①	(イ)労働と健康 ・労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理について理解している。					
	7	(イ)働く人の健康の 環境と健康	・労働環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理について理解している。					
	9	(4)健康を支える (ア)環境と健康 ㊦環境の汚染と健康	○健康を支える環境づくりについて理解を深める。 (ア)環境と健康					
後 期	10	㊧環境と健康に関する活動 ㊨環境衛生に関わる活動	境を汚染し健康に影響を及ぼすこと、学校や地域の環境を健康に適したものとするよう基準が設定されていることを理解している。		○健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現することができる。		○生涯を通じる健康に関する課題の解決策について自主的に考えることができる。	
	11	(イ)食品と健康 ㊦食品の安全性 ㊧食品衛生に関わる活動	(イ)食品と健康 ・食品の安全性を確保する基準の設定について理解している。					
	12	(ウ)保健・医療制度 ㊦我が国の保健・医療制度	(ウ)保健・医療制度及び地域の保健・医療機関					
	1	㊧地域の保健・医療制度 定期考査 ②	・保健・医療制度及び地域の保健所、保健センター、医療課題などを適切に活用することができる。					
	2	(エ)様々な保健活動	・医薬品の有効性や安全性の審査、販売には制限があること、疾病からの回復や悪化の防止、医薬品の正しい使用について理解している。					
	3	(オ)健康に関する	(エ)健康に関する環境づくりと社会参					

科 目 名		スポーツⅣ（ダンス）		単 位 数	2	履修区分	選 択
対 象 の 部		午 前 部	午 後 部	使 用 教 科 書 教 材			
履 修 の 条 件							
先 生 か ら の ア ド バ イ ス		イメージやリズムを捉えて一人一人の個性を生かした表現や作品をまとめて発表し、仲間やパートナーと踊ったりすることを通して、身体を通して自由に自己を表現するとともに、心を解放して誰とでも楽しく交流します。					
評 価 の 観 点		知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学ぶ態度	
観 点 の 内 容		ダンスの推進及び発展に向けた多様な関わり方を理解するとともに、機能を身につける。		ダンスにおける自他や社会の課題を発見し、思考し判断するとともに、他者に伝えている。		ダンスの学習に主体的に取り組むとともに、公正、協力、責任、参画、共生などに対する意欲を高め、健康・安全を確保して、生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に取り組もうとしている。	
評 法 価 方	授 業 観 察	◎		◎		◎	
	ノート、プリント	◎		◎		◎	
学 期	月	学習内容（単元名）	評価規準				
前 期	4	創造方ダンス 現代的なリズムのダンス ↓	入学年次 ○知識 ・ダンスの名称や用語、踊りの特徴と表現の仕方、交流や発表の仕方、運動観察の方法、体力の高め方などについて理解している。 ○技能 ・現代的なリズムのダンスでは、リズムの特徴を捉え、変化とまとまりを付けて、リズムに乗って全身で踊ることができる。	入学年次 ・表現などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	入学年次 ・ダンスに自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、作品や発表などの話合いに貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどを行ったり、健康・安全を確保したりしている。		
	5	↓					
	6	↓					
		↓					
	7	↓					
	9	↓					
後 期	10	↓	入学年次の次の年次以降 ○知識 ・ダンスの名称や用語、文化的背景と表現の仕方、交流や発表の仕方、課題解決の方法、体力の高め方などを理解している。 ○技能 ・現代的なリズムのダンスで、リズムの特徴を強調して全身で自由に踊ったり、変化とまとまりを付けて仲間と対応したりして踊ることができる。	入学年次の次の年次以降 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	入学年次の次の年次以降 ・ダンスに主体的に取り組むとともに、互いに共感し高め合おうとすること、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じた表現や役割を大切にしようとするなどを行ったり、健康・安全を確保したりしている。		
		↓					
	11	校内発表会 ↓					
	12	↓					
	1	↓					
	2	↓					
	3	↓					